

手術を受けられる患者様へ

手術を控え、何かと不安なことが多いと思います。このパンフレットは、安心して手術を受けていただるために、手術室に入ってからることを説明したものです。

参考にしていただき、心配なことや分からないことがあれば、医師または看護師におたずねください。

スタッフの紹介

手術は、診療科医師、麻酔科医師、手術室看護師、臨床工学技士、薬剤師などいろいろなスタッフで手術中から手術後にかけてサポートいたします。

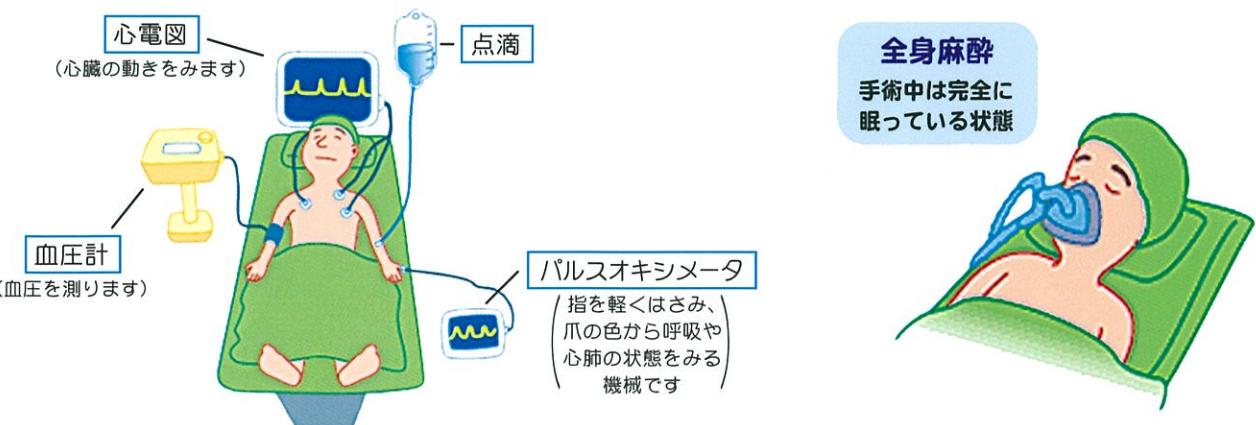
病棟から手術室に来られる時の手術前準備

- 手術衣は、背中合わせで着用し、マジックテープが背中に来るよう着用してください。
- 病棟を出るまでに、使い捨ての下着（パンツ）をつけ、病棟看護師から渡される手術衣を着用してください。このとき、上半身には下着をつけるないようにしてください。
- 寒い時期には、体温保持のために、靴下を身につけ、カーディガンなどの防寒着を羽織ってきてください。
- 装着物（貴金属類、ピアス、指輪、コンタクトレンズ、眼鏡、時計、ヘアピン）はつけないでください。また、化粧、マニキュアについては、病棟で取ってきてください。ペディキュアについても同様です。ジェルネイルも、取っておいてください。また、爪は短く切っておいてください。
- 眼鏡、補聴器が必要な方は、装着したまま手術室へお越しください。
必要なくなった時点でとりはずしますので、保管するケースを持参していただくと助かります。
- 義歯や、内服薬、飲食・飲水時間については、指示に従ってください。
- 歯を保護するプロテクターのある患者様は、病棟で装着してください。また、プロテクターは、患者様の持ち物ですので、使用後は個人で保管しておいてください。
- 局所麻酔の患者様は、主治医の指示に従ってください。



手術室入室時について

- 必要により車椅子やストレッチャー（寝台車）での入室となります。基本的に病棟から病棟看護師とともに歩行入室します。
- 手術室に到着後、手術に携わるスタッフで、ご本人様確認を行います。
その際に患者様よりお名前・生年月日・血液型を言っていたいきます。カルテやネームバンドでも確認しますのでご協力ください。その後、手術部位確認を行い、申し送りが終了したら、手術室内に入ります。
- 手術室内の手術台の上で仰向けになっていただきます。その後心電図を貼り、血圧計などのモニターをつけて、点滴を行います。準備が整った後、口に酸素マスクを当て麻醉が始まります。麻酔が効いてくると、だんだん眠くなくなります。



手術中から手術終了まで

- 手術中は、麻酔を行った後に尿の管を入れますので、トイレの心配は要りません。
- 手術終了後に、麻酔を醒めます。お名前を呼び、声をかけますので、聞こえたらその指示に従ってください。麻酔から醒めたら、大きな呼吸をするように心がけてください。
- 麻酔から完全に醒めた後、移動用のベッドに移り、手術室から出ます。

回復室について

- 術後の状態が落ち着くまで回復室で30分程度休んで、病棟に帰室します。
手術の内容によっては、集中治療室に入室することがあります。
看護師が側にいますので、何かあれば遠慮なくお声かけください。



腰椎麻酔・硬膜外麻酔

- モニター類をつけ、点滴が入ると、イラストのように体を横に向けて膝を抱えて丸くなります。
処置が終了するまでは、動かないようにしてください。
- 処置中、手術後に背中の痛みや足のしびれ、その他、気になることがありますので早めにお知らせください。
- 処置の際は手術室看護師が介助しますので、ご協力お願いします。



脊椎麻酔で手術を行う場合…

- 手術中（麻酔中）は痛みがありませんが、意識はあります。
- 手術後に頭を持ち上げると、頭が痛くなることがありますので、一晩は、安静にしておいてください。
- 側に麻酔科医師、看護師がいますので、何かあれば遠慮なくお声かけください。

ご家族の方へ

手術中は病棟の談話室でお待ち下さい。急な私用で席を外される場合は、詰所の病棟看護師に声をかけ、連絡先をお伝えください。
手術が終了した後にスタッフから連絡が入りますので手術室入り口までお越し下さい。
そこで、医師から手術の結果について説明がありますので、手術終了後まで待機しておいてください。
手術終了後は、患者様に面会できますので、ご安心ください。

**手術前は体調を整えて、風邪を引かないようにしましょう。
あなたの手術が無事に終了するように、手術に携わるスタッフ一同、最善をつくします。**